

平成 22 年第 5 回太良町議会  
(定例会第 4 回)

一 般 質 問 通 告 書

太 良 町 議 会

受付 月日	受付 番号	通告者氏名	質 問 事 項 要 旨	答弁者
11.17	1	山口 光章	<p><b>1. 社会教育における町の環境づくりについて</b></p> <p>(1) 社会教育委員としての本来の職務はどういったものか。</p> <p>(2) 社会教育委員としての職務が本町においてどのような影響を及ぼしているか、例を挙げよ。</p> <p>(3) 今現在、社会教育は公民館事業のサポート役にすぎないが、公民館独自ではやりとげられないのか。</p> <p>(4) 社会教育における研修もありうるが、その研修で学んだことが我が町にどれだけ役立っているのか、例を挙げよ。</p> <p>(5) 教育者などの集まりであるが、我が町にとってプラスの面はどのようなものか。</p> <p>(6) 研修費用の予算が少ないと思うが、毎回何名の研修者が参加しているのか。</p> <p>(7) 社会教育委員の研修で学んだレポートなどは、毎回公に町民に知らされているのか。</p> <p>(8) 今後社会教育が町の環境作りに重要な影響が出てくると思うが、将来的にどのようにしていかれるのか。</p> <p>(9) 社会教育委員としての存在感が非常に薄く感じられるが、どれくらいの活動をされているのか。多くの活動内容を説明せよ。</p>	町 長
11.26	2	川下 武則	<p><b>1. 景気対策について</b></p> <p>景気が低迷する中で、町民たちの生活は圧迫されている。太良町独自に町民たちの生活を回復させるような景気対策を考えているか問う。</p>	町 長
			<p><b>2. 有明海再生について</b></p> <p>今年のカキ養殖が赤潮によって7割から8割が死滅し、大きな被害を受けている。昨年ののり養殖は品質は良かったようだが、非常に不作だった。また、タイラギも太良沖がほぼ全滅し、現在は大牟田沖のみに生息していると聞いている。</p>	町 長

受付 月日	受付 番号	通告者氏名	質 問 事 項 要 旨	答弁者
11.26	2	川下 武則	有明海の状態は年々悪化している。昔のような宝の海、有明海の再生のために何が必要か、対策を講じるための方策は考えておられるのかを問う。	町 長
11.29	3	山口 巖	<p><b>1. 農業政策の取り組みについて</b></p> <p>国の農業政策が大きく変わる中で、町の基幹産業の一つである農業に対する太良町の取り組みと今後の考えを問う。</p> <p>(1) 国・県が推進している6次産業化の取り組みについての考えと太良町の一次産業資源を使った商品開発の方策はないか。</p> <p>(2) 第3期中山間地域等直接支払制度における地域の活動内容とその指導はどのようなものか。</p> <p>(3) 今年の9月から11月に行われた、全国の知事、首長に政権公約についてのアンケート調査の中で、農家の「戸別所得補償制度」についての回答とその考えは。</p> <p>(4) 政府が「参加検討」を閣議決定したTPP（環太平洋連携協定）について佐賀県議会も国に対し意見書を提出したところであるが、町長の考えとその対策は。</p>	町 長
12.1	4	見陣 泰幸	<p><b>1. 行財政運営について</b></p> <p>(1) 財政運営はこれまでどのようなことを考えて運営してきたのか、また今後どう考えて運営していくのか。</p> <p>(2) 地域住民と行政について、今後地域住民のことを行政として理解をし、行政運営のことも住民に理解をしてもらうことが大事だと思うが。</p>	町 長
			<p><b>2. 観光行政について</b></p> <p>道の駅太良を利用した観光地づくりを、今後どのように考えているのか。</p>	町 長

受付 月日	受付 番号	通告者氏名	質 問 事 項 要 旨	答弁者
12.1	5	久保 繁幸	<b>1. 漁業振興について</b> 環境の変化で厳しい状況の中、漁船漁業の不振は続き、魚介類の宝庫であった「宝の海、有明海」は、過去のものとなしつつあるが、二期目を表明された岩島町政、今後、漁船漁業関連事業へどのような対策を講じるのか問う。 (1) 漁業者の育成と後継者対策。 (2) 育てる漁業への対策。 (3) 諫早湾干拓排水門開放へ強力なアピール。 (4) 漁業者の所得補償制度とはどのような補償か。	町 長
			<b>2. 教育行政について</b> (1) 新生太良高校の改編計画検討の経過中の全県募集枠のスケジュールが確立した時期と思うが、全般的な内容を問う。 (2) 昨今いじめで自殺する子どもの多発や、相次ぐ問題教師などの報道が多いが、本町の対応はどのように行っているか問う。 (3) 来春から導入される新学習指導要領は、今までとどう違うのか問う。	教育長
12.1	6	末次 利男	<b>1. 行財政運営について</b> 予算は町が新年度に実施する事務事業にどれだけの経費をかけるか、一方、経費を賄うための必要な財源をどのように調達するかを計画し、それを金額に示したものである。 住民の行政ニーズは多様化し、要望は無限であるが、限られた財源で出来るだけ応えるための編成業務は一番苦労されると思う。 町を統轄し、予算編成と執行の行財政権は町長のみにも与えられた専属事項であることから、次のことについて問う。	町 長

受付 月日	受付 番号	通告者氏名	質 問 事 項 要 旨	答弁者
12.1	6	末次 利男	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 新年度の予算編成方針について。</li> <li>(2) 事務・事業の見直しについて。</li> <li>(3) 新たな活性化戦略を見据えた予算枠について。</li> <li>(4) 職員の地区担当制について</li> </ul>	町 長